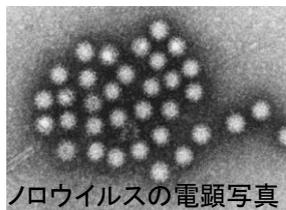


ノロウイルス感染を予防しましょう！

●ノロウイルスとは…

- 感染性胃腸炎の主な原因ウイルスです。
- 口から入り、ヒトの腸管で増殖します。
- 少量（100個以下）でも感染が成立します。
- アルコールや60℃程度の熱では死滅しません。



ノロウイルスの電顕写真

●主な症状は…

- 激しい吐き気、おう吐、下痢、腹痛、軽度（38℃以下）の発熱等。
- 潜伏期間は24～48時間、感染後1週間～1ヶ月程度ウイルスを排出。
- 通常は発症後1～2日で治癒します。
- 感染しても症状が無く、便からウイルスが検出される場合があります。

●主な感染経路は…

- ノロウイルスが付着した衣服、物品等を触った手指を介した経口感染です。
- 感染者のおう吐物の飛沫や乾燥したホコリを吸入して感染します。
- 調理人等の手を介して汚染した食品を食べることで感染します。
- ノロウイルスに汚染された二枚貝を生又は加熱不十分で食べることで感染します。

●予防法…ここがポイント!!

- 衛生的な手洗いの徹底（トイレの後、食事前、調理前）
- おう吐物やふん便の適切な処理
- 食品や調理器具の十分な加熱（85℃以上、1分以上）

【衛生的な手洗いの方法】

（②～⑨までの手順を繰り返して2回行くと、より効果的です。）

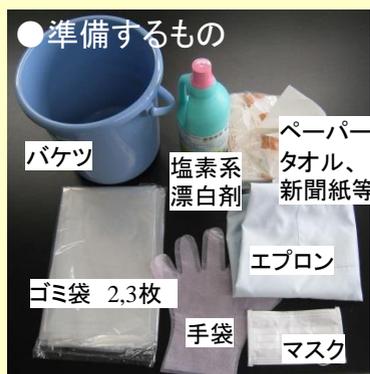


【おう吐物、ふん便の処理方法】

- ①作業時は換気をおこない、処理者以外は別室に移る
- ②市販の塩素系漂白剤（通常5～6%）を希釈し、0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液（消毒液）を作る（バケツの水2リットルに対して漂白剤のキャップ2杯＝約40mL）（換気注意!）



●準備するもの



- ③使い捨ての手袋、マスク、エプロンを装着する
- ④消毒液で浸したペーパータオル等で汚物を覆い、10分間置く
- ⑤ペーパータオル等で汚物を外側から内側に集め、袋に入れる
- ⑥ペーパータオルに消毒液を浸して足踏みし、靴底を消毒し、ゴミ袋に入れる
- ⑦ゴミ袋に消毒液を少量入れて消毒し、密閉して処分する

⑧使用したエプロン、手袋、マスクは別のゴミ袋に入れ、密閉して処分する

⑨作業後は衛生的な手洗いをする

⑩汚物のついた衣類やシーツ等は、他の洗濯物と別にして洗濯した後、塩素系漂白剤で消毒する。

塩素系漂白剤を使用できないじゅうたん等は、ぬれタオルをあて、スチームアイロンによる加熱消毒でもよい。